

《労働災害発生状況》

1 署別・業種別件数（令和7年分）（ ）内は木建工事 ○内は死亡者数 令和7年9月30日現在

署別	業種別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署		15②	(16) 28	8②	(16) 51	(9) 50⑤	569
小松監督署		4	(4) 9	3	(4) 16①	(3) 16①	211
七尾監督署		4	(9) 17	4	(9) 25	(2) 14①	103
穴水監督署		10	(21) 24	4	(21) 38②	(13) 28	62
計		33②	(50) 78	19②	(50) 130③	(27) 108⑦	945
前年同期		② 16	(27) 75①	17③	(27) 108		⑨ 836

対前年同期比の増減 建設業：108件→130件【22件(20.4%)増加】 全産業：836件→945件【109件(13.0%)増加】

2 死亡災害事例(令和7年分) 全産業 令和7年9月30日現在

No.	発生	業種	年齢	事故の型	発生状況
1	1月 金沢	道路貨物運送業	50代	有害物等との接触	出張先の新潟県上越市内において、同僚がトラックの運転席後部の寝台で意識のない状態の被災者を発見したが、その後死亡が確認されたもの。(火気使用による一酸化炭素中毒)
2	3月 金沢	木造家屋建築工事業	50代	墜落・転落	木造住宅解体工事現場において、解体後の廃材を解体用つかみ機で搬出する作業中、トラック運転席上部にいた被災者が地上に墜落したものの。
3	4月 小松	道路貨物運送業	60代	崩壊・倒壊	荷主作業場において、トラックの荷台ヘフォークリフトにより製品（木材）を積み込んでいたところ、3段積みの積荷が崩れ、トラックの荷台で作業していた被災者が下敷きとなり死亡したものの。
4	4月 金沢	旅館業	50代	墜落・転落	業務のためホテル（11階建て）の屋上に行った後、地上の歩道上に墜落したものの。
5	4月 金沢	木造家屋建築工事業	20代	火災	木造2階建建物(動物病院)の増築工事現場において、被災者が污水管を通すため既設石膏ボードに電動ドリルで直径100mmの穴を開けた際、既設酸素導管に誤って穴をあけてしまい、その際に発生した火花が断熱材に引火した。火は既存建屋に燃え移り、被災者は退避できずに死亡したものの。(技能実習生)
6	5月 金沢	印刷業	60代	はさまれ 巻き込まれ	大型輪転印刷機械を停止して段取り作業を行っていた際、停止した機械のロール後退作業を同僚が行ったところ、機械装置内に侵入していた被災者が、ロールと印刷機の軸にはさまれ死亡したものの。
7	6月 七尾	警備業	30代	交通事故	出張先である氷見市内の市道交差点において、通信ケーブルの引き込み線の撤去工事現場周辺の交通整理を行っていたところ、乗用車にはねられ、死亡したものの。

3 署別・業種別件数（令和6年確定値）（ ）内は木建工事 ○内は死亡者数

署別	業種別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署		18	(15) 52	8	(15) 78	(7) 58④	837
小松監督署		2①	(5) 19①	5②	(5) 26①	(3) 23②	282
七尾監督署		3①	(14) 25	3①	(14) 31	(6) 19②	154
穴水監督署	②	8①	(31) 33	4③	(31) 45①	(1) 12④	82
計	②	31③	(65) 129①	20⑥	(65) 180②	(17) 112⑫	1,355
前年同期		38①	(17) 51①	23②	(17) 112		⑥ 1,480

対前年比の増減 建設業：112件→180件【68件(60.7%)増加】 全産業：1,480件→1,355件【125件(8.4%)減少】

4 死亡災害事例(令和6年)建設業のみ

No.	発生	業種	年齢	事故の型	発生状況
1	2月 小松	機械器具設置工事業	40代	飛来・落下	改装中の食品スーパーマーケット内において、設置のために搬入した台車上の冷凍用ショーケース(幅1568×高さ1940×奥行900(mm)、質量280kg)の養生テープや不要な掲示物を外すなどの開梱作業をしていたところ、同ショーケースが倒れ、その下敷きになり死亡したものの。
8	9月 穴水	トンネル建設工事業	50代	崩壊・倒壊	豪雨によりトンネル周囲の地山が崩落する土砂崩れが発生し、被災者は行方不明となっていたが、9月22日の捜索により、倒れたトラックの下敷きになっている状態で発見されたものの、死亡が確認されたもの。
9	9月 穴水	道路建設工事業	70代	激突され	民家屋根上の倒木の撤去作業のため、被災者がドラグ・ショベルでつった倒木の枝払い中に墜落しそうになったため、当該ドラグ・ショベルを動かして助けようとしたところ、当該倒木が被災者に激突したものの。
10	10月 小松	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	60代	崩壊・倒壊	地上において鉄骨梁(重さ約2.5t)を2本の枕木の上に置き、組み立て作業を行っていたところ、鉄骨梁が倒れ、下敷きになったもの。
11	10月 七尾	木造家屋建築工事業	40代	墜落・転落	道具を取るため、被災者がトラックの運転席後部に上ったところ、体勢を崩し荷台に墜落し、荷台上の産業廃棄物の屋根瓦に左側頭部を打ち付けたもの。
12	11月 穴水	木造家屋建築工事業	70代	はさまれ・巻き込まれ	廃材を入れたフレキシブルコンテナバッグを解体用つかみ機を用いて移動させる作業において、同つかみ機の爪にフレキシブルコンテナバッグの紐をかけていた被災者が、同つかみ機の爪に頭部を挟まれたもの。

5 死傷災害の推移 発生件数欄の上欄（ ）内は死亡者数

事項別	年	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7 速報値
発生件数	全産業(A)	(15) 1,067	(10) 1,016	(9) 968	(12) 1,153	(15) 1,250	(8) 1,155	(10) 1,158	(7) 1,357	(8) 2,395	(6) 1,480	(12) 1,355	(7) 945
	建設業(B)	(6) 158	(2) 125	(2) 118	(7) 135	(3) 147	(3) 141	(2) 126	(3) 143	(2) 138	(2) 112	(6) 180	(2) 130
割合(%)	(B)/(A)	14.8	12.3	12.2	11.7	11.8	12.2	10.9	10.5	5.8	7.6	13.3	13.8
対前年比(%)	全産業	1.3	▲ 4.8	▲ 4.7	19.1	8.4	▲ 7.6	0.3	17.2	76.5	▲ 38.2	▲ 8.4	13.0
	建設業	22.5	▲ 20.9	▲ 5.6	14.4	8.9	▲ 4.1	▲ 10.6	13.5	▲ 3.5	▲ 18.8	60.7	20.4